

## 第51回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和4年1月14日（金）17：30～19：00

2. 会場：庁議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

池田 一義	一般社団法人埼玉県商工会議所連合会 会長（WEB参加）
岡部 信彦	川崎市健康安全研究所 所長（WEB参加）
金井 忠男	埼玉県医師会 会長
川名 明彦	防衛医科大学校 教授（WEB参加）
小谷野 和博	埼玉県中小企業団体中央会 会長（WEB参加）
近藤 嘉	日本労働組合総連合会埼玉県連合会 会長（WEB参加）
坂木 晴世	国際医療福祉大学大学院 准教授（WEB参加）
讃井 将満	自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長（WEB参加）
竹田 晋浩	かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長（WEB参加）
松田 久美子	埼玉県看護協会 会長（WEB参加）
光武 耕太郎	埼玉医科大学国際医療センター 教授（WEB参加）
三村 喜宏	埼玉県商工会連合会 会長（WEB参加）

4. 県側参加者

大野 元裕	知事
高田 直芳	教育長（WEB参加）
安藤 宏	危機管理防災部長（WEB参加）
山崎 達也	福祉部長（WEB参加）
関本 建二	保健医療部長
星 永進	保健医療部参事
本多 麻夫	保健医療部 参事
板東 博之	産業労働部長（WEB参加）
村田 暁俊	都市整備部長（WEB参加）
岸本 剛	衛生研究所 副所長

## 5. 主な意見

### ア オミクロン株への対応について

- 保健所の負担が大きくなることは明らか。診療・検査医療機関の活用など、どのように軽減するか検討すべき。（金井委員）
- デルタ株と比較して重症化率は低いが、陽性者数が増えれば深刻となるので、ベッドの確保は早急にすべき。（竹田委員）
- 病床数、重症者数を見ながら次の手を考えていくべき。病床や宿泊療養施設、健康観察の体制を確保しているのは心強い。（川名委員）
- どういった人が重症化するかわかれば、スコア表を修正し入院基準を見直すべき。（讃井委員、川名委員）

### イ 今後の措置について

- まん延防止等重点措置の要請・対策について同意する。（委員一同）

#### 【県の対応】

- 県内の感染状況及び委員の意見を踏まえ、まん延防止等重点措置の要請について決定した。（1月19日開催第75回新型コロナウイルス対策本部会議において決定。）
- 感染対策と経済を対立構造にする表現は良くないため、安全に経済を回すための感染対策であるというメッセージを発するべき。（坂木委員）

### ウ 福祉施設、学校における対応について

- まん延防止等重点措置下での、まずは学級閉鎖をして、それが進んだ場合は学校閉鎖へという個別の判断であれば妥当。（岡部委員）
- 福祉施設への検査やリリーフナース制度という、県がこれまで積み重ねてきたノウハウが反映されており妥当。（岡部委員、川名委員、坂木委員）